



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

秋夜歳の如し、秋の夜は夏の短夜の後なので、めっきり長くなったと感じます。燈火、月の光、虫の声……。

しみじみとして季節の想いを深めます。

戸外に目を転ずれば、秋嶺紅をさす。

爽気深まり、紅葉前線が北から南へ

向かいます。

皆様には、ご自愛ください。



<紙面から>

高齢者総合センター 敬老の日行事 ……1ページ

北町高齢者センター 世代間交流

コミュニティカフェ 登録ヘルパー紹介制度 ……2ページ

権利擁護センター多職種成年後見相談会

デイサービス夏祭り 補助器具センター講演会 ……3ページ

お知らせ リレーコラム ……4ページ

## 祝 敬老の日 高齢者総合センター 行事



9月17日敬老の日、市民の長寿を言祝ぐ行事が開催されました。

恒例のチャリティヘアカットは、武蔵野理容組合加盟店に所属する7名の理容師さんが、心を込めて来場者を散髪していただきました。

代表世話人の福崎昭生氏は「センター職員がお客様の対応をしてくれたので、ヘアカットに専念できました。皆さんに喜んでいただき、こちらも嬉しい」と仰っていました。

ご利用者は「年に一度の楽しみだよ。今日もスッキリした」と笑顔です。毎年1回、この日だけ髪を切るデイサービスのご利用者もいます。

チャリティとしていただいたご寄付は、すべて武蔵野市民社会福祉協議会へ寄贈しました。



午後は敬老寄席。落語芸術協会初の女性真打、桂右團治師匠をお招きしての独演会です。師匠の古典落語のレパートリーは二百席、英語の落語にも取り組んでいます。また、高齢者福祉とも密接に関わる成年後見制度研究の第一人者である田山輝明早稲田大学名誉教授のゼミ出身という異色の経歴の持ち主です。多彩な声色、語られる情景がアリアリと眼前に浮かび上がるような仕草と語り口、機知に富んだ「落ち」にご来場の皆様は大爆笑。

皆様は口々に、「とっても楽しかった。是非、この噺家さんの寄席に行きたい」と満足された様子でした。笑う門には福来る。ご来場いただき、誠に有難うございました。



## 北町高齢者センター 世代間交流 いろいろ

昨年秋、北町高齢者センターは、子育てひろばが併設されたユニークな高齢者施設となりました。以来、ご利用者と子育てひろば・みずきっこに集う乳幼児親子との共同イベント、世代間交流が活発に行われています。

8月29日30日の二日間、夏祭りを開催し、ご利用者は、みずきっこの親子と盆踊り、玉入れゲーム等を楽しみました。参加したお母さんからは、「地域のお祭りには中々参加できないので、利用者さんと一緒に踊って良い経験になりました」との感想が聞かれました。ご利用者も子どもも、嬉しそうに祭りを堪能していました。



9月12日、ご長寿をお祝いする敬老の集いに、多くのご利用者が参加されました。

席を埋め尽くすご利用者の中に、みずきっこから生後2カ月～3歳の小さなお客様が登場。

びっくりした表情を見せる子どもたちを、ご利用者は「なんて可愛い～！！」と満面の笑みで迎え、慈しみ深いまなざしを注いでいました。

子どもたちからのプレゼントは、小さな手形と足形が押された手作りのカード。心のこもったメッセージ「いつまでもお元気で！」、「えがおにこにこお元気で！」も添えられていました。世界で唯一の宝物です。様々な世代が一堂に会し、まごころ込めてご利用者のご長寿をお祝いした忘れられない一日となりました。



9月18日、お馴染みの早稲田大学ピアノの会の23名が来所し、ピアノのソロ演奏、連弾、ピアノとバイオリンのデュオ等、10曲の演奏をしてくださいました。

秋の歌、童謡唱歌をご利用者と合唱し、交流タイムでは、学生がご利用者の中に入り、会話も弾みました。



若人との談笑

次代を担う若者たちの熱心な活動にご利用者は毎回感銘を受けています。



多彩な楽曲と演奏



### コミュニティカフェ開催のお知らせ

高齢者総合センターの各部署や権利擁護センターの事業内容、地域の福祉活動やまちおこしに力を注いでいる各団体などをご紹介します。

地元の団体で構成する緑懇話会設立30周年をお祝いし、各商店会合同の軒下フェスタとコラボレーションします。是非、足をお運びください。

日時 10月27日(土) 11時から13時30分

場所 高齢者総合センター西側敷地(雨天は館内)

内容 オープンカフェ(無料) 老いじたく相談

社会活動センター折紙講座体験

千川太鼓演奏 ラスク・パンの販売

地域団体パネル紹介



### ホームヘルプセンター武蔵野 ～ 登録ヘルパーの紹介制度 ～

2025年問題を控え、全国で福祉人材不足が懸念されています。ホームヘルプセンター武蔵野では、5月に紹介によるヘルパーの登録制度(公益財団法人武蔵野市福祉公社登録ヘルパーの紹介に関する要綱)を定め、人材確保に取り組んでいます。現在、この制度初の登録ヘルパーさんが、ケアを担ってくださっています。

人と人との輪を広げて、豊かな福祉の人的資源を、これからも整えてまいります。



萱場理事長による紹介者表彰



## 権利擁護センター 多職種連携による成年後見相談会

9月8日、三鷹駅北口の「かたらいの道市民スペース」にて、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部、権利擁護センターみたかと協働して、成年後見相談会を開催しました。

この相談会は多職種の専門家が協働し、それぞれの専門性を活かし相談に応じる点が特徴です。成年後見制度や相続、遺言等についてはリーガルサポートの司法書士が回答し、社会資源や福祉サービスについては福祉公社と権利擁護センターみたかの職員が回答しました。

今年の相談では「障害を持った方が相続する案件」と「他県に住む親族の申立方法」が印象に残りました。どちらの相談も、福祉サービスや成年後見制度、相続等の複数領域の専門家が同時に回答できる体制があるからこそ、即時に対応できたケースでした。

出席したソーシャルワーカーの感想は、「他の専門家の面談技法や回答の要点を垣間見て勉強になった。今後の業務に活かしたい」とのことでした。

福祉公社権利擁護センターは、市民の皆様が安心して生活できるよう、今後も他の専門職と積極的に連携してサービス向上に取り組んでまいります。



## 高齢者総合センターデイサービス ☆夏祭り☆



恒例の夏祭りを8月30日に開催しました。

総勢143名の方にお越しいただき、会場は熱気に包まれながら一同で往く夏を見送りました。

今夏は例年にない酷暑の毎日でしたが、ご利用者は、お元気で参加され、郷愁の縁日横丁、和太鼓SOHの勇壮な演舞、子どもたちとのじゃんけん大会、盆踊りを、地域の皆様と共に楽しめました。



和太鼓SOHの渾身の演奏、演舞を目の当たりにした80代のご利用者は「すごいねえ、涙が出ちゃうねえ」、と感極まり目頭を押さえていました。

多くの来場の皆様は、「夏の思い出がまたひとつ増えて楽しかった」と喜ばれていました。

ボランティアの方々のお心のこもったサポートを頂き、今年も無事に、一大イベントの夏祭りを終えることができました。有難うございました。



## 補助器具センター「住まいと排泄の講演会」ご案内



「自宅で一生を過ごしたい」、これは多くの高齢市民の切なる願いです。

しかし、生活に最重要の排泄に支障を来し、施設入所せざるを得ない例も多く見受けられます。また、市のアンケートによれば、在宅介護の大きな負担として夜間の排泄ケアがあげられています。いつまでも住み慣れた我が家で暮らし続けるために、住いと排泄について、この分野の第一人者が講演します。在宅生活継続の貴重なヒントを得る機会です。是非ご来場ください。

日時 10月19日(金) 10時から12時20分

会場 武蔵野市役所 811 会議室

QRコードからもお申込頂けます



第1部 排泄トラブルへの対応 補助器具センター 牧野美奈子排泄ケア専門員

第2部 住まいの工夫 首都大学東京 橋本美芽氏

申込・問合せ 補助器具センター ☎ 0422-51-1974 FAX 0422-51-1982

[ksc@fukushikosha.jp](mailto:ksc@fukushikosha.jp) (メールでのお申込も可です)



# 会社からのお知らせ

## 老いじたく講座 ～ 老いじたくの基礎知識 ～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 10月29日(月)13時30分から15時  
場所 高齢者総合センター 4階研修室



## 福祉公社 むさしの青空市に初出店

リサイクルなど消費者運動を推進する市民の交流を目的に、第38回むさしの青空市が開かれます。介護食の試食とお子さん向けにスーパースクイを予定しています。

例年、農産物や食べ物の販売など様々な他の出店があり楽しめます。

皆様のお越しをお待ち申し上げます。

日時 11月11日(日)10時から15時  
(雨天決行)

場所 むさしの市民公園 (市役所南隣)

## ～ エンディングノート 書き方講座 ～



想いを記すことは残された人々への指針

日時 11月14日(水)13時30分から15時  
場所 福祉公社 1階会議室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター  
申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

## 職員リレーコラム

### 第54回 《美ら海の珊瑚礁》

デイサービスセンター 仲道 清美

8年ぶりの里帰り。うりずん(冬が終わり大地に潤いが増してくる時期、2月から4月)の頃で、浜おり(潮干狩り)に最適な季節となり、連日海へ。もずく、コエ貝、シャコ貝、サザエ、沢山の海の幸を堪能しました。が、心晴れず……。夢にまで見た枝サンゴやテーブルサンゴ、熱帯魚が激減。辺り一面、白化したサンゴが延々と続き、心が沈みました。

20年前、赤土で死滅したサンゴが翌年には小さな枝サンゴとなり広がりを見せた時には、サンゴの生命力に拍手を送りました。5年後でも10年後でも良い、小さな、小さな枝サンゴでも良い、あの美しいサンゴの群集を眺めながら、海とサンゴの生命力に再び拍手を送りたい、と機内からリーフに囲まれた久米島を眼下に、祈る思いを残し、故郷を後にしました。



⇒ 次回は 北町高齢者センター 川島 芳美

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社 次号は平成30年11月9日発行予定です



### 武蔵野市福祉公社

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター  
・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>